

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月19日(月) 13:30~15:30
- 3 開催場所 郡上特別支援学校 大和校舎 体育館
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	板倉 寿明	愛知淑徳大学講師
副会長	水野 正文	郡上大和総合開発株式会社代表取締役社長
委 員	森藤 文男	郡上市議会議員
	池戸 節子	郡上市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所相談支援専門員
	石田 紀美江	郡上大和総合開発株式会社人事管理部長
	野田 美鈴	社会福祉法人ぶなの木福祉会理事長
	増田 雅幸	郡上市大和町栗巣地域住民
	山田 泰子	郡上市八幡町那比地域住民
	小澤 久美子	卒業生保護者
	小林 伸久	令和7年度PTA会長
学 校 側	守屋 朋伸	校長
	保 義博	副校長
	牧野 康広	事務部長
	上村 篤	教頭
	長井 奈月	小・中学部主事
	金田 麻巳子	高等部主事
	横関 麻衣子	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 今年度の学校運営について
 - ・教育の概要
 - ・年間行事計画
 - ・地域連携推進計画
 - (2) 作業製品の価格設定について
 - ・昨年度末に提案したのと同じ作業製品について価格を確認し、承認を得た。
 - ・中学部の作業製品は第2回学校運営協議会で確認する。
 - (3) 質疑応答、意見

- 意見1：令和2年度からコロナ禍となり令和5年度に制限が緩和されたが、健康教育に関することについて、どのように意識が変わってきたか。
⇒児童生徒、職員とも手洗い、うがい、換気が習慣化した。感染症対策をすることで、自身の健康が守られることを知って継続できている。
- 意見2：GujoSmile サポーターズの登録人数、実績からみる課題は何か。
⇒登録者数は65名。いくつか活動をしているが、GujoSmile サポーターズの登録者全員が何らかの形で活躍できる機会を用意することが課題である。コロナ禍で5年以上関わっていない人も多いため、登録者に本校から連絡を入れることから徐々に広げていきたい。
- 意見3：地域連携行事の参加をとおして、私たちも共に活動していきたい。
- 意見4：本校の1校舎体制に向けて、調査の費用がついたとのことだが、今後の予定はどうなっているか。
⇒現在のところ、それ以上の情報はない。
- 意見5：一人一人を大事にしている学校で、発達に合わせた支援をしていることがよく分かった。これを根気強く続けることで、児童生徒の可能性を引き出したり、新たな可能性を見出したりできる。教育の原点だと考えている。
- 意見6：生徒が高等部卒業後も、学校職員がサポートをしていると保護者から聞いている。地域全体、郡上市全体で支えていかなければいけない。在学中にどんどん外へ出てアピールするとよい。GujoSmile サポーターズに登録していなくても協力していただける人がいる。つながり作りを大事にしてほしい。
- 意見7：卒業後は、主体的に行動できる力が大事である。在学中に自信をもって行動し、社会に出たら自信を深めていってほしい。まずは出かけることが大事である。職員の勤務の問題はあるが、休日等のイベントに高等部生徒が参加するなど、何気なく、さりげなくやっているとよい。
- 意見8：社会に出て20代になると異性関係の問題が発生する。雇用する会社の指導と本人の思いとの間に乖離が生じ、自己管理能力と危機管理能力を会社が育てきれないジレンマに直面している。社会のサポートシステムがないと、問題がどんどん深刻化していく。
- 意見9：児童生徒支援だけでなく、保護者支援も学校では行っているが、保護者支援をよりよい方向へ進めるために、地域や郡上市、岐阜県で考えてもらえるとよい。
- 意見10：現場の声を県や国に上げていきたい。
- 意見11：学校の思いや行おうとしていることは、児童生徒の姿から分かる。

6 会議のまとめ

全委員より今年度の本校の学校運営方針について承認が得られた。特に、今年度の本校の教育の重点目標であるキャリア教育の推進、地域と共にある学校づくりについて、目指すべき学校の在り方、教育の在り方に対して思いを共有した。

本校に在籍する児童生徒が将来にわたって地域で豊かに暮らし続けられるよう、地域と共に学校運営に取り組んでいきたい。